

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

口絵などの魅力的な解説や、例えば英語歌詞の全訳などの丁寧な説明、変声期の発声についてなど合唱を行っていく上での参考となるような文章や図解が多数付け加えられていて、生徒にとって多くを学ぶことができる教材となるよう配慮されている。《②・⑤・⑥・⑧》

2. 教育基本法に基づく観点

口絵などの魅力的な解説や、例えば英語歌詞の全訳などの丁寧な説明、変声期の発声についてなど合唱を行っていく上での参考となるような文章や図解が多数付け加えられていて、生徒にとって多くを学ぶことができる教材となるよう配慮されている。《①・②・③》

3. 学習指導要領に基づく観点

「こげよマイケル」のような生徒が親しみやすく歌いやすい曲もあるが、「夢の翼」「海が明けるよ」「希望という名の花を」といった比較的難しく（例えば「希望という名の花を」の最高音は高いファ、それも跳躍進行であることなど）あまりなじみのない曲が多いことが、基礎的な表現の技能を身につける点で配慮を要する。《②・③・⑤》

4. 外的要素に関する観点

いずれも製本が丈夫で、またカラフルで見やすい。《①・②・③》

5. 構成・配列に関する観点

「翼をください」「ブルタバ（モルダウ）（鑑賞）」「花の街」「早春賦」などのスタンダードな教材が1～2学年早く学ぶようにできている点では優れている。《①・④》

6. 資料その他に関する観点

いずれも歌唱、鑑賞、創作の分野において教師が取り組みやすいように工夫されている。《②》

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

楽譜の中で音楽記号の説明はせず、何が分からない記号かを自分で見つけ教科書の後半部分（音楽1と音楽2・3上は79ページ、音楽2・3下は73ページ）からその記号の名称や意味を自分で調べるようになっているところなどが、自己の判断と責任で道を切り拓くことができる能力の育成という点において優れている。《②・④・⑤・⑥》

2. 教育基本法に基づく観点

楽譜の中で音楽記号の説明はせず、何が分からない記号かを自分で見つけ教科書の後半部分（音楽1と音楽2・3上は79ページ、音楽2・3下は73ページ）からその記号の名称や意味を自分で調べるようになっているところなどが、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うという点や主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うという点において優れている。《①・②・③》

3. 学習指導要領に基づく観点

音楽1の教科書は「主人は冷たい土の中に（静かに眠れ）」や「パフ」など生徒が比較的歌いやすく、なじみやすい曲など基礎的な表現の技能を身につける点で優れた教材がたくさん取り入れられている。また音楽2・3（上）や音楽2・3（下）の教科書にも「夢の世界を」「夏の日の贈りもの」など誰もが親しめるメロディーの曲が多く含まれていて、音楽を愛好する心情を育てる点や音楽活動の楽しさを体験できる点で優れている。《①・②・③・⑤》

4. 外的要素に関する観点

いずれも製本が丈夫で、楽譜や音符の大きさ、文字の大きさ、余白（行間）のバランスが適切で見やすい。《①・②・③》

5. 構成・配列に関する観点

「翼をください」「早春賦」などの教材が生徒の発達段階に合った、適切な時期に学習できるように配置されている。また、内容も易しい教材から難しい教材まで幅広く系統的に取り上げられ、基礎・基本となる能力をさらに高める点において活用しやすい構成となっている。《①・④》

6. 資料その他に関する観点

いずれも歌唱、鑑賞、創作の分野において、教師が取り組みやすいようにバランス良くそれぞれの分野の教材が配置されている。また、口絵など資料が豊富で授業での話題にできそうな写真も多い。《②・③》